

道徳教育の今を伝えました！

平成22年2月27日(土)もとす教育者道徳研究会(教道研)として、初めての実践研究会を開きました。北方町立北方西小学校ひまわり教室に、26名が集まりました。



2人の発表者

今号は、その様子を紹介します。

本巣市を代表して本巣小・居上英樹教諭、北方町を代表して北方小・吉田光宏教諭に提案していただきました。神谷肇理事の働きかけにより、今回は北方町内の民生児童委員さんが大勢参加してくださいました。学校で今行われている道徳教育を伝える絶好の機会

となりました。進行は北村あずさ会計が行いました。

会に先立ち、主催者を代表して森山政紀会長が挨拶をしました。

岐阜県は道徳教育において全国の高いレベルにあること。しかし、常に学ぼうという教師自身の不断の意欲が極めて大切なこと。改訂された学習指導要領が示す「価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深める」授業構想で、県道研が第26回「道徳と特別活動の教育研究賞」文部科学大臣賞・最優秀賞を受けたこと。近く論文が雑誌に掲載されるので、よく読み込んで授業実践に生かして欲しいこと。等の報告がありました。



挨拶する森山会長

道徳教育でわたしが今大切にしていること

実践提案では、本巣小・居上英樹教諭が「総合単元的道徳学習の展開と、価値把握して自己を深めく見つめる道徳の時間の指導」と題して、まず発表しました。

人間としてよりよく生きていくための3つの力として、「生き方への感性」「自他共に生きる力」「自己を見つめる力」を掲げて真摯に日々取り組んでいる姿には、参観者の共感が寄せられました。



発表する居上教諭

1時間の道徳の時間を指導するには、他の教育活動との関連を図って計画的に進めることが大切であること。そこで総合単元的道徳学習として、4年担任の1学期は「たった一つの命」、2学期「本当の友達」をテーマに実践したこと。教師が意図すれば、朝の会・帰りの会の意味合いも変わり、児童が進んで関わり合い、お互いに温かい言葉かけが増えてきたこと。また、授業でも忠告できる友達の大切さを考えられたこと。等の紹介がありました。

道徳の時間の指導の工夫としては、発問・板書・ノート・学び方についての内容が紹介されました。一例として「絵はがきと切手」の発問では、「弱さに気づかせる」「価値把握させる」「自己を深く見つめさせる」ために吟味したことが出されました。

「先生ではないので、内容は詳しく分からないところがあるけれども、大切な生き方を教えてくれる先生として素晴らしい。孫を教えてもらえたらありがたい。若いお母さんにも聞いて欲しい。」等の「学校の今」を見直していただく感想も出されました。

後半は、北方小・吉田光宏教諭が「豊かに感じて判断し、仲間とともにによりよく生きようとする児童の育成」と題しての発表でした。平成20・21年度と文科省研究指定を受けた北方小の研究主任、授業実践者と、両方の立場からの発表でした。

- 北方小で願う児童の姿は…（本質であり今日的課題でもあります）
- ◎いつでも、どこでも、心のこもった挨拶や仕事のできる子
 - ◎仲間の気持ちや考えに共感し、思いやりの心や協力し合う態度で、集団や社会の一員としての自覚や責任をもって活動する子
 - ◎主人公の言動に敏感に反応し、仲間とともに意欲的に道徳的価値を追求・把握し、自己をみつめる子



発表する吉田教諭

研究内容は、道徳の時間の指導（授業）・関連的指導・家庭地域との連携でした。紙面では、特に授業のことを紹介します。低学年は、役割演技を大切にし、演じる側と見ている側の問いかけ・異同に気づかせることを通して価値把握に迫ります。中学年では、書く活動を大切にし、終末

に自己の在り方を深く見つめさせます。高学年では、感じ方や考え方の異なる3人の話し合うことを聞いた上での話し合いを大切にし、中心発問から価値に迫ります。資料として、感動資料・児童の興味関心の高い人物資料を大切にしていることも紹介されました。

「核家族と忙しさのために、じっくり話し合う場も時間も奪われているのは悲しいですね。できるだけ子や孫と話し合うようにしています。」等、貴重な体験談も出されました。



最後に、林明夫顧問より指導講評をいただきました。

夢と希望をもちにくい環境にいる児童生徒へ真に寄り添って、道徳（心の）教育に励んでくださっている提案者をまず価値付けていただきました。また、資料の扱い方についてご自身の実践を基に、参会者の考える場をつくっていただきました。まとめに地域ぐるみの先頭に立って進めてくださる参会者にエールを送っていただきました。



講評する林顧問

閉会後は、わかのやで懇親会を行い、お互いの今年度の慰労と来年度の夢を語り合いました。活動のよい締めくくりになりました。

※3月の理事・役員会が開催できませんでした。お詫びします。

平成22年度もよろしく

平成22年度の主な活動計画予定

- 5月21日（金）理事・役員会（北方西小）
- 6月26日（土）総会・講演会（北方西小）
- 8月12日（木）第47回岐阜県教育者研究会（羽島会場）
- 11月5日（金）中部地区小学校道徳教育研究会岐阜大会（那加三小）
- 12月23日（木）理事・役員会（北方西小）
- 2月26日（土）実践研究会（北方西小）

今年度から、岐阜県教育者研究会が羽島市と関市の2会場で行うことになりました。もとす教道研としては、羽島会場小学校低学年に実践発表者を推薦する大役があります。本巣市・北方町の先生方の中でよい方を推薦して欲しいと思います。また、会員（会費無料）を広く募りたいと思います。よろしくをお願いします。

県道研夏季ゼミナールは中部地区道研開催年のため行われません。よろしければ、道徳を学ぶよい機会なので、小学校にお勤めの方は、11月の出張を校長先生にお願いしてみてください。